
東金市と三友プラントサービス株式会社及び スターバックスコーヒージャパン株式会社との 包括的な連携に関する協定の取組みについて

令和4年1月20日に東金市、三友プラントサービス株式会社、スターバックスコーヒージャパン株式会社との間で締結された包括連携協定に関して、みのりの郷東金を拠点とした持続可能な資源循環社会の実現のため、以下3点の取組みが始まったことについて報告いたします。

・木材リレー

東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー活用として、道の駅みのりの郷東金直売所南側水路沿いにウッドフェンスを設置しました。このフェンスに使用した材木は、東京オリンピックサーフィン会場である釣ヶ崎サーフィンビーチ（一宮町）で使用された木材を再利用しています。今後は同木材を活用した観光案内所とっちーの家の木質化、選手村ビレッジプラザの建築用材を活用した什器の製作・装飾等を予定しています。

・再生可能エネルギーの導入

道の駅の脱炭素化を目指し、直売所及び加工場の屋根に太陽光パネルを設置し、施設の使用電力の一部を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えを行います。直売所は年間電力使用量のうち約3割、加工場は約7割を賄うことができます。加えて、直売所に蓄電池を設置することで、停電時の非常用電源を確保しています。今後は、事業運営に必要な電力を100%再生可能エネルギーで賄う「RE100」を目標とします。

・スターバックス コーヒー 道の駅みのりの郷東金店のオープン

道の駅みのりの郷東金内にスターバックスコーヒー道の駅みのりの郷東金店がオープンしました。この店舗は、スターバックスが世界自然保護基金（WWF）と共同策定した、環境に配慮した店舗のための国際認証「Greener Stores Framework」を取得する国内2号店であり、今後、認証店舗の全国拡大に向けたベースとなる店舗とのことです。

また、同店舗の特徴でもある植栽は、植木の街東金を前面に押し出したデザインとなっており、工事を道の駅みのりの郷東金で受注し、圃場部会役員を中心に市内の植木職人がデザイン構想の段階から参加することで、作りあげたものとなっています。東金市の木として指定されているラカンマキをはじめ、春夏秋冬を感じられる工夫を凝らしており、道の駅みのりの郷東金の新たな可能性の提示と、植木の街東金という魅力を再発信することができるものと考えています。

問い合わせ先 経済環境部農政課農政係 (担当者 子安・蕨) TEL0475 (50) 1138
